

都市・周縁〈史料と社会〉科研・小円座

# 近世大坂の水と地域

本円座では、都市・周縁〈史料と社会〉科研の海外の研究協力者であるティモシー・エイモス氏（シドニー大学）をお招きして、最近の研究の取り組みについて報告いただきます。

都市大坂は、大川（淀川）・木津川や、市中の多くの堀川のもとで立っていました。それはまた摂河泉の河川の治水との関連で、構築・管理されたものでした。

今回は、大坂の周辺地域の治水や水利の問題について、土木学会『明治以前日本土木史』（土木学会、1936年）にも立ちかえり、また近年の先行研究などにも触れながら、明治期以前の大坂周辺の水の問題と地域について、問題提起をしていただきます。

皆さまのふるってのご参加をお待ちしております。

**日時** 2024年1月18日（木）13：30～16：30ごろ

**場所** 大阪公立大学経済学部棟2F 第4会議室

（Zoom併用）

**報告** ティモシー・エイモス氏（シドニー大学）

「明治以前の大坂周辺における「水の問題」と  
地域の知識」

※参加希望者は、都市・周縁〈史料と社会〉科研事務局([kinnseiosakakennyuukai@gmail.com](mailto:kinnseiosakakennyuukai@gmail.com))まで、事前にメールで申し込んでください（ZoomID・レジユメを送付します）。

**主催**: 科研・基盤研究(A)「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位置—〈史料と社会〉の視点から—」 **共催**: 大阪公立大学文学研究科都市文化研究センター(UCRC)

◇**科研事務局**: 〒 558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪公立大学大学院文学研究科  
齊藤紘子研究室気付

※背景図:『岷江畫帖』. 国立国会図書館より(土木学会編『明治以前日本土木史』1936年、1664～65頁参照)